

平成 24 年 6 月 5 日

平成 24 年度電気化学会北陸支部春季大会ならびに講演会、見学会記録

電気化学会北陸支部

若手の会[学生の部 (ショートプレゼン&ポスター)] (参加者 30 名)

日時：5 月 17 日 (木) 14:00~16:00

場所 福井大学アカデミーホール

今年度の支部秋季大会は創設 50 周年記念大会と位置付けて開催し、そのために特例として、学生の研究発表の場を設定しないことが正月開催の支部総会・幹事会で認められている。このことを踏まえて、支部春季大会の特別企画として学生の研究発表の場を確保し、学生の研究に対するモチベーション向上を目的とした「若手の会・学生の部」を実施した。また、この発表を ECS 共催と位置付け、発表申し込みのあった 7 名の学生には、英文要旨 (A4、1 枚) の提出を義務付けた。当日は、ショートプレゼンテーション (5 分間/一人) で研究概略を説明後、ポスター発表 (1 時間) を行う形式とした。最優秀賞選考には、出席幹事、及び若手の会「研究者の部」の講演者に審査員を依頼した。どのポスターの前でも、発表者と出席者の間で、息つく暇もない程に活発な討論が繰り広げられていた。審査の結果、下記に示す二名を選考した。なお、受賞者に対しては、一年以内に Eelectrochemistry 誌に論文を投稿するように依頼した。表彰と記念品贈呈は、翌日の特別講演会に先立って実施した。

- ・最優秀賞 清水 勇祐 君 (福井大学大学院工学研究科M1)
- ・優秀賞 飛弾 祐平 君 (富山大学大学院理工学教育部M2)

若手の会[研究者の部 (講演・討論会)] (参加者 16 名)

日時：5 月 17 日 (木) 20:00~24:00

場所 芦原温泉「清風荘」

昨年度に引き続き、支部春季大会の目玉企画と成りつつある「若手の会・研究者の部」を実施した。若手研究者による研究紹介および質疑応答、さらに親睦と交流を深める目的で、2 名の若手研究者に講演して頂いた。本年度も若手の会「学生の部」で発表した学生の皆さん、会場設営を手伝ってくれた学生の皆さんも参加する中、様々な観点から、活発な討論が行われた。

1. 富山大学 准教授 小野 恭史 氏
「疎水性粒子電極を用いた気体還元と促進酸化処理への応用」
2. 金沢大学 助教 桑原 貴之 氏
「素子構造設計を主軸とした高機能有機薄膜太陽電池の開発」

本年も白熱した討論で当初予定した時間を大幅に超過したため、北陸支部特別企画「夜なべ談義」は部屋毎で行った。

特別講演会(参加者 25名)

日時：5月18日(金) 10:30～11:20

場所：福井大学産学連携本部3階

アイテック株式会社新事業開発本部開発部部长 佐々木 肇 氏
ナノダイヤPJ 小泉 将治 氏

アイテック(株)新事業開発本部開発部部长 佐々木 肇氏からは、初めにアイテック株式会社の事業概要について説明して頂いた。イオンプレーティングや電着塗装による表面処理技術、更にはナノダイヤを用いた分散メッキ等、興味深い話を伺うことができた。また、実際の種々サンプルの回覧、海外とのコスト競争など現状における課題、会社としての海外進出等も踏まえての講演であったことから、非常に引き込まれる内容であった。続いて、ナノダイヤ関連の開発内容については、更に詳細な説明を同社ナノダイヤPJ所属の小泉 将治氏より紹介して頂いた。

講演終了後に活発な質疑応答が交わされ、講演会は盛会裏に終了した。

見学会(参加者 15名)

日時：5月18日(金) 13:30～15:00

場所：アイテック(株)

アイテック(株)の事業概要の説明後、工場内を見学させて頂いた。眼鏡や携帯電話、ゴルフのシャフトなどの表面処理は、いわゆる大量生産とは違って個別対応が多いため、電着塗装やイオンプレーティングといったエリア毎でも扱う製品が多岐に渡っており、丁寧な手作業を行っていることが印象的であった。工場見学後に、再び、質疑応答の時間を割いて頂いた。その中で、取締役 進士 豊様から「産学連携に非常に注力している」旨の応答が随所であり、非常に印象的であった。

以上